

久留米大学医学部附属臨床検査専門学校 令和元年度学校評価委員会報告書

当初、令和2年5月の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対面形式の委員会開催を中止し、Zoom ミーティング形式にて実施した。また、各委員には事前に下記資料を郵送し、各委員からの意見が短時間で確認できるように配慮を行った。

〈配布資料〉

- ・ 令和元年度学校自己評価報告書
- ・ 資料1 令和2年3月 第66回臨床検査技師国家試験結果
- ・ 資料2 令和元年度 就職・進学先一覧
- ・ 資料3 令和2年度入学試験結果

1. 日 時 令和2年6月17日（水）19:00～19:40
2. 場 所 久留米大学教育2号館1階教務事務室、教務主任室
(新型コロナ感染対策のため委員会はZoom ミーティング形式で開催)
3. 出席者 真茅 孝志委員 純真学園大学保健医療学部医療工学科（教授）
浮池 俊憲委員 卒業生代表
熊谷 幸 委員 保護者代表
- 西 昭徳 校長
武谷 三恵 教務主任
中島 俊弘 医学部事務部専門学校事務室 事務室長

4. 次 第

- (1) 校長挨拶
- (2) 委員紹介
- (3) 報告書説明
教務主任から評価が低かった項目を主に説明を行った。
- (4) 質疑応答（主な意見交換）
 - ・ 全般的な評価基準について
3（ほぼ適切）の評価が多いが、厳しめではないか。
 - ・ (3) 教育活動について
 - e 職業教育に対する外部関係者からの評価について、臨地実習先の病院から派遣した学生に対する評価は「実習評価表」に基づき行われているが、内容も古く評価方法についてもかなりシンプルなものであるため、内容を見直した方がよいのではという意見が委員より出された。

これについては、教務主任から新型コロナの影響もあることから、令和2年度に3年担任と新しい「実習評価表」を作成したこと、評価項目についても実習内容に見合うものに見直しを既に行っていることなどを報告。また、来年に向けて、さらにブラッシュアップしていく予定でもあることなどを併せて説明。

・ (10) 社会貢献・地域貢献について

a の学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献について、評価2（やや不適切）とした理由は何か？

事務局から、教育2号館は築45年で各所の老朽が目立ってきたこともあり利用が少ないと感じたため、この評価としたことを説明。また、令和2年度では一部ではあるが補修について予算計上済であることを併せて報告。

これについて、別の委員から筑後地区の技師会が勉強会や総会などで活用している実績もあることから評価は3（ほぼ適切）にすべきという意見が出された。審議の結果、評価は3に修正することで全委員の了承が得られた。

・ 令和2年度入学試験結果（資料3）について

令和2年度入試結果を見ると、資料請求数は飛躍的に伸びている一方で、平成31年度（令和元年度）入試と比較して志願者の減がかなり目立つ。今年は手堅いところを狙い、浪人を回避してランクを1つか2つ下げて受験校を決める傾向がどこもあったと思うが、この結果についてはどう分析をしているか質問させていただきたい。

これについては、校長から受験生に确实なところを狙って受験校を選択する傾向が強かったことは否めないこと、前年度の高い実績を踏まえた予測をしていたが、これに反して合格者の中から入学する受験生の比率が想定より低かったことなどが要因として考えられると説明。また、今年は高等教育無償化（「高等教育修学支援新制度」）が始まり、本校でもその準備をして対応はしていたものの「4年生大学志向」がより強まったことなども影響しているのではないかと考えていることを説明。

以上の結果を踏まえ、今回の質疑応答で指摘された点を修正し、学校評価委員会としての報告として公開することについて、委員の了承が得られた。